

<学校名>川越市立寺尾小学校

<所在地>川越市寺尾979-2

<電話>049-245-9555

<本事例の特徴>

本校は、外国籍の児童が各学年に数名いる。今後も外国籍の児童が増えることが予想されるが、現状としては彼らの経験を生かした異文化理解を行えていない。そこで、外国語活動や総合的な学習の時間を諸外国とのつながりや関わりをもてる機会とできるように、取組を紹介する。

<具体的な取組や成果>

○総合的な学習の時間において、タイ王国について紹介する

本校教職員1名が、在外施設派遣教員として令和2年度から令和4年度まで勤務した経験を生かし、タイ王国の日本人学校や現地校、食べ物、街の様子、文化、建物等幅広い範囲で紹介を行った。東南アジアのイメージと実際の違いや日本文化が浸透していることに気づかせ、関心を高めることにつながった。

○主な資料

(1) 日本との関わり



日本から離れた東南アジアの国「タイ王国」にも、日本になじみのあるファストフード店やコンビニエンスストアがあることを紹介した。

児童の反応として、「日本と同じものがこんなにあると思っていたいなかった。」「こんなに発展していないと思っていた。」という反応が見られた。

(2) 外国に住む日本人のための日本人学校について



タイ王国の日本人学校に通う児童が、日本の学校と変わらず同じ教科書を使い、日本語で学習していることを知る。タイ王国の日本人学校は在籍児童数が多いため、本校とは環境が全く違うことも知った。タイ王国と日本の共通点や相違点を学ぶきっかけともなった。

○児童の感想より (一部)

最初はちがうところしかないと思っていたけれど、日本と同じところや違うところがたくさんあって、すごく楽しそうだった。行ってみたいと思った。

学校に警察がいたり、船で移動する切符の形が、日本とは違っていたりして、これも全部タイの文化のようなもので、それを大切にしていることを知った。

○文化や同じ「学校」という施設を紹介することで違いや同じ部分に気づき、身近に感じることができた。今後は他国の食事や伝統工芸品などにも触れる機会を作っていく。